

『謎解きネイチャーゲーム』 アンケート結果

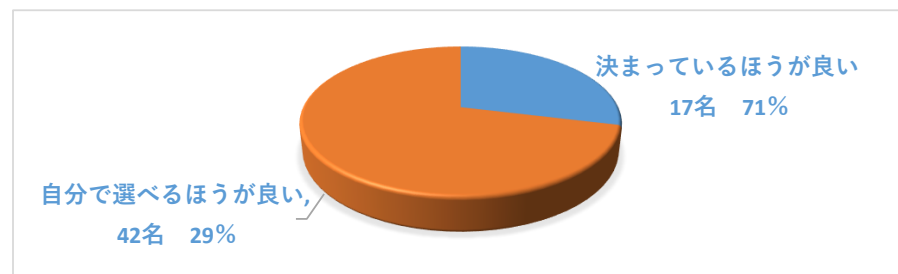
実施日：令和7年11月17日（月）

参加者：62名

（1年生10名、2年生18名、3年生11名、4年生7名、5年生14名、6年生2名）

アンケート①

宿題をする時間や場所を自分で選ぶことができているけれど、どう思いますか？



決まっているほうが良い（17名）	自分で選べるほうが良い（42名）
<ul style="list-style-type: none"> ・動くのがめんどくさいから ・（自分で選ぶのが）めんどくさい。 ・選べると迷うから ・色々変えるとあまりよくないから ・毎日同じところだとやりやすい。わかりやすい。 ・毎日同じ時間にできるから ・その人次第、時による（2名） ・第2教室が1・2年が遊んでうるさいから。混むから。（5名） ・1、2年とかに5、6年の場所（第2教室）を取られて腹立っちゃう。 ・宿題をしているときに邪魔されたりするから ・ルール ・楽しいから（2名） ・あそべるから 	<ul style="list-style-type: none"> ・色々なことができるから（2名） ・決まってる飽きる。気分を変えられるから。（3名） ・自分で決めたほうが良いし、楽だから（3名） ・静かな場所を選んでできるから。（3名） ・自分が勉強したい時、遊びたい時にできるから（2名） ・友達と一緒に（遊びや学習）がやりたいから（6名） ・自分の好きな場所でできる（第2教室など） ・自分の好きな時間にやったほうがリラックスできるから ・遊んでから宿題をやる等、自分で選ぶとメリハリがつけられる。けど、宿題が「あともう少し」となってしまうこともある ・時間がないときに宿題をやっていたら遊ぶ時間がなくなるから ・早くしないと迎えが来て宿題ができないから ・時間を守れてよい ・集中しやすいから ・選べないと宿題がまわらなくなるから ・帰りが遅い人は友達と遊んでから宿題ができる。宿題が終わっていたらやることなくつまらない ・宿題がだるい、めんどくさいけどやらなくて済む

⇒自分で選べるほうが良いと答えた児童が7割強となりました。自分で選んで学習ができるようになってから、子どもたちが自ら集中して取り組めるようになったと感じています。自由とは、人に迷惑をかけないことが前提ということを繰り返し子どもたちと共有し、学習室での静かな環境を子どもたち同士で保持できるよう指導していきます。

アンケート②

体験教室ではどんなことがしたいですか？

運動系	それ以外
<ul style="list-style-type: none"> ・ドッチボール（21名） ・サッカー（5名） ・野球（5名） ・キャッチボール（1名） ・バレーボール（2名） ・一輪車（4名） ・バスケットボール（3名） ・ぶらんこ（3名） ・跳び箱（3名） ・障害物マラソン（1名） ・全部 	<ul style="list-style-type: none"> ・工作（9名） ・漫画を読む ・アニメをみたい（ディズニーなど）（2名） ・アニメについて語る ・トランプ（2名） ・じゃんけん ・簡単なこと ・楽しくやりたい ・漢字でだれが一番うまく書けるか ・なしがいい ・何もしたくない

⇒運動系の希望が多く聞かれました。運動系以外でも、未知のことを知りたい、学びたいというよりは楽しいこと、簡単にできることが希望として挙げられました。郷土の伝統、手話などの共生社会に必要な学習、少し努力したり、協力したりすることが必要なプログラムなども含め、来年度の体験教室は子供たちの意見を取り入れつつ、主体的に取り組み、達成感の味わえる計画にしていきたいと思います。

アンケート③

児童館の好きなこと・嫌いなことを教えてね

好きなこと	嫌なこと
<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい（7名） ・友達や先生、いろんな人と遊べる（15名） ・遊具や友達と遊ぶこと ・漫画がたくさんある（7名） ・鬼ごっこや外で遊ぶこと（2名） ・卓球（3名） ・ブランコで遊ぶこと（2名） ・一輪車があること（3名） ・楽しく遊べて少し自由 ・ぬりえ（3名） ・野球 ・ドッチボール ・たくさん体験教室がある。（2名） ・宿題ができる（3名） ・先生があまい・優しい（3名） ・そんなにない（2名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・なわとび ・一輪車検定 ・けんかする ・ゲームをやりすぎて、やることがなくつまらない ・ゲームをするとき、入らないといけないうこと ・どんどん帰っちゃうから遊ぶ人がいなくなってくる。 ・けんかする ・やりたくないのに強制参加させられる（2名） ・楽しくない。あまり楽しくない時がある。（2名） ・ルールがいっぱいあること ・転んだらけがをするからだめって言われる ・先生がすぐおこる。（5名） ・先生がうるさい（4名） ・先生がうざい ・おもちゃにあきた

⇒子どもたちは、楽しいこと、自由なこと、友達や先生と遊ぶことが放課後子ども教室の好きなこととしています。一方、危険行為を静止したり、後片付けをしないことを注意されたりすることは、自由を制限された、やりたくないことをやらされる、強制されると捉えてしまうようです。自分も、みんなも楽しく安全に過ごすためにルールがあり、守ることが必要であることを理解してもらえよう指導のあり方を工夫していきたいと思います。

アンケート④

どんな児童館にしたいですか？

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| ・楽しい児童館（17名） | ・ブランコの数を増やしてほしい |
| ・自由な児童館（12名） | ・食べ物を食べられる児童館 |
| ・色々な物（スマホなど）を持ってきたい（3名） | ・おやつが欲しい |
| ・仲良くできる児童館にしたい（2名） | ・パン屋さんがほしい |
| ・みんなでかくれんぼをしたい（2名） | ・テレビをみたい |
| ・みんなが笑顔の児童館（2名） | ・走り回れる児童館 |
| ・宿題の時間がほしい（2名） | ・みんなでクイズをしたい |
| ・漫画がたくさんある児童館にしたい。（2名） | ・いつ帰ってもいいようにしたい |
| ・もっとおもちゃがたくさん置いてある児童館 | ・喧嘩しない児童館 |
| ・みんな（先生も）がハッピーな児童館 | ・うざえやつがいなくなれ |
| ・先生が怒らない児童館 | ・嫌なことがない児童館 |
| ・先生のルールを守る | |

⇒子どもたちも職員も目指すのは「楽しい」「笑顔いっぱい」「ハッピー」な児童館です。今後も、子どもたちと一緒に遊んだり、学んだり、時には意見をぶつけ合ったりしながら、子どもたちの気持ちに共感できる距離での関わり続けながら、目指す児童館を共に築いていきたい思います。

子どもたちの感想

1年

- ・いつもより楽しかった。（3人）
- ・難しかった。
- ・面白かった。（2人）

2年

- ・楽しかったけど難しかった。
- ・面倒くさかった。
- ・楽しかった。（4名）
- ・めっちゃむずかった。
- ・ちょっと難しかったけど、めっちゃ楽しかった。
- ・謎を解くのが楽しかったです。簡単でした。
- ・問題がめっちゃ簡単だった。
- ・面白かった。（2名）
- ・最初は難しかったけれど、慣れてきたら面白かった。
- ・色々な問題があって楽しかった。

学年の記入なし

- ・難しくて嫌だった。
- ・楽しかった。（4名）
- ・面白かった。（2名）
- ・謎解きが好きだからよかった。
- ・だるかった。
- ・勉強が難しいと思ったけど楽しい。
- ・みんなで楽しく遊べてよかった。
- ・最初は何か分からなかった。
- ・普通。ながい。

3年

- ・楽しくておもしろい。
- ・あまり楽しくなかった。
- ・楽しかった。（3名）
- ・難しかったし、楽しかった。
- ・めっちゃ楽しかった。またやりたい。

4年

- ・少し難しかったけど、楽しかった。
- ・たくさんのクイズが解けて楽しかった。
- ・みんなと協力できたし、ミッションがたくさんあって楽しかった。
- ・ミッションが簡単だったけど楽しかった。今度は何かを作りたい。
- ・時間を短くしてほしい。
- ・ミッションが難しかったけどできた。
- ・色々なことができて楽しかった。

5年

- ・あまり分からない所が多かった。
- ・ちょっと疲れた。
- ・遊び時間をとられたけど楽しかった。
- ・疲れた。（2名）
- ・色々な問題がでてきて楽しかった。
- ・楽しかった。簡単だった。
- ・面白かった。
- ・謎解きを解くのが楽しかった。（2名）
- ・楽しかった。またやりたい。
- ・探すのがめっちゃ楽しかった。
- ・最初は緊張したけど、あとからほぐれた。

6年

- ・けっこう難しかった。
- ・楽しかった。

※ 今回の「子どもたちの声」を聴く試みにおいて、多くの子ども達が日頃思っているたくさんの”本音”を聞かせてくれました。この声を、様々な場面で活かしていきたいと思います。アンケートが終わってから、久しく放課後子ども教室に来ていなかった児童が「今の児童館はすごく楽しいよ。前に嫌だと思っていた勉強や遊び場所のきまりがなくなったから。」と言いにきてくれました。試行錯誤しながら進めてまいりましたが、子どもたちの生き生きとした姿に少しずつ手ごたえを感じてきております。これからも更に充実した「居たい」「行きたい」「やりたい」居場所づくりを子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様と共に築いていきたいと思います。

